

基本目標Ⅳ 「食文化を守り、育てる」ために

〔現状と課題〕

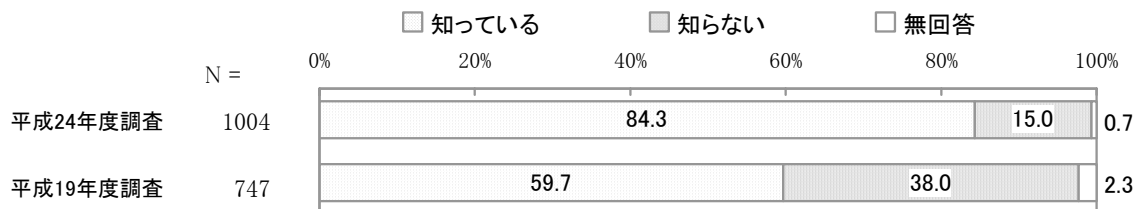
地域で生産したものを地域で消費する“地産地消”は、新鮮で安心できる食材の供給とともに、流通等に係る環境負荷が少なく、食料自給率を向上する上でも重要な取り組みです。また、旬の食材を意識して食べる“旬産旬消”も生産や保存などに係る環境負荷が少ないだけでなく、栄養価も高くおいしい食べ方となっています。

三島市には、清らかな富士山の湧水や箱根西麓三島野菜といった地場産物があり、学校給食において、こうした地場産物の利用を進めてきました。この結果、市民の“地産地消”の認知度は非常に高くなっています。しかし、旬の食材や地元産農作物は、特に若い世代であまり利用されていないことがわかりました。このため、子どもたちから、身近な学校給食において地場産物を食べ、地域の自然や文化を理解できるよう、引き続き関係機関や協力事業者との連携を強化し、地場産物の利用を促進することが必要です。

また、箱根西麓三島野菜など農畜産物のブランドについては、各種イベント等による浸透がうかがえます。今後も地場産物への市民の関心を高めるため、イベント等を活用して家庭における“地産地消・旬産旬消”を推進することが必要です。

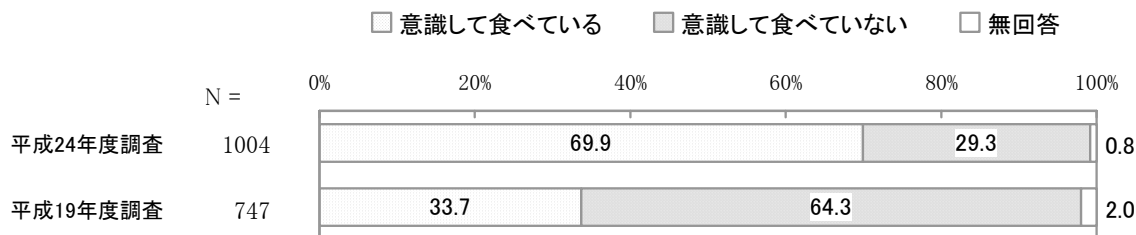
※郷土料理や伝統料理、※行事食等は、その土地の食材を使い、地域独自の料理法で作られ、食べ継がれてきたものです。「三島市の食育推進に関する調査」では、重点的に取り組むべき食育の分野において、前回調査に比べて食文化の継承が重要視されてきていることがうかがえます。今後は、この市民の関心の高さを活用し、郷土料理や伝統料理、行事食とあわせてバランスのとれた食事である「ごはん」を中心とした日本型食生活への実践及び三島固有の食習慣や食文化の継承が必要です。

“地産地消”の認知度

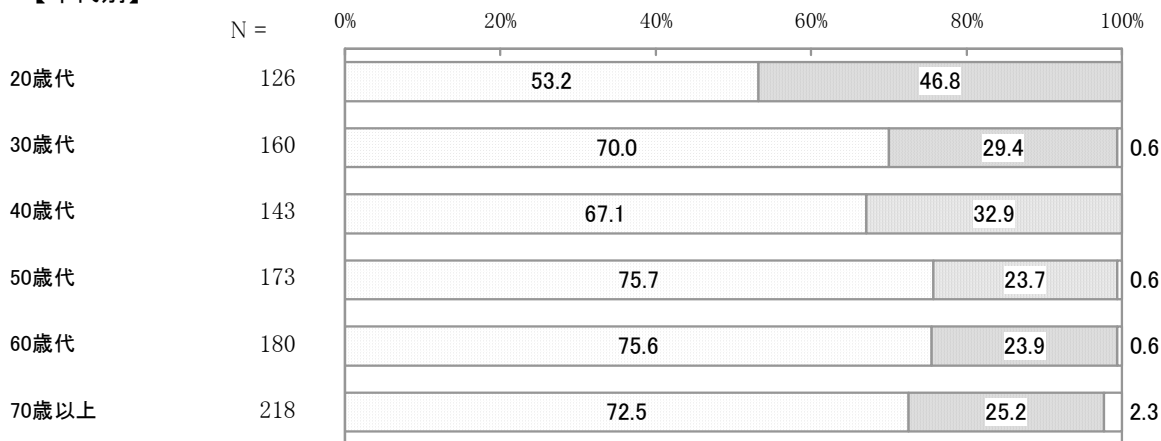


資料：三島市の食育推進に関する調査

旬の食材を意識して食べている状況



【年代別】

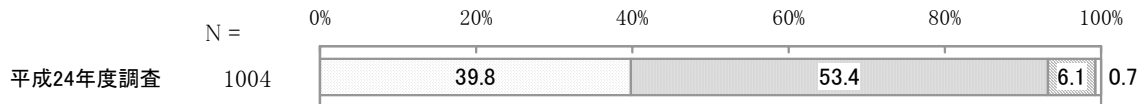


資料：三島市の食育推進に関する調査

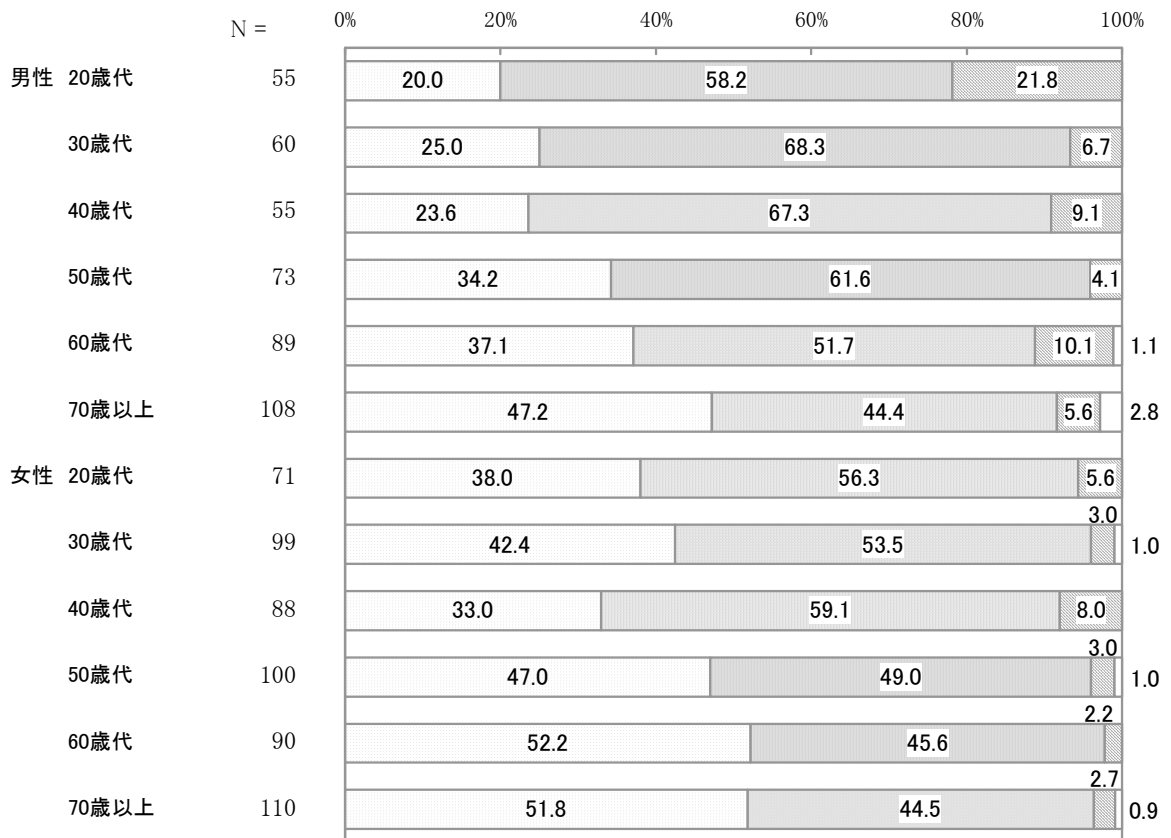


地元産の農産物の使用状況

□ よく使用する □ あれば使用する □ あまり使用しない □ 無回答

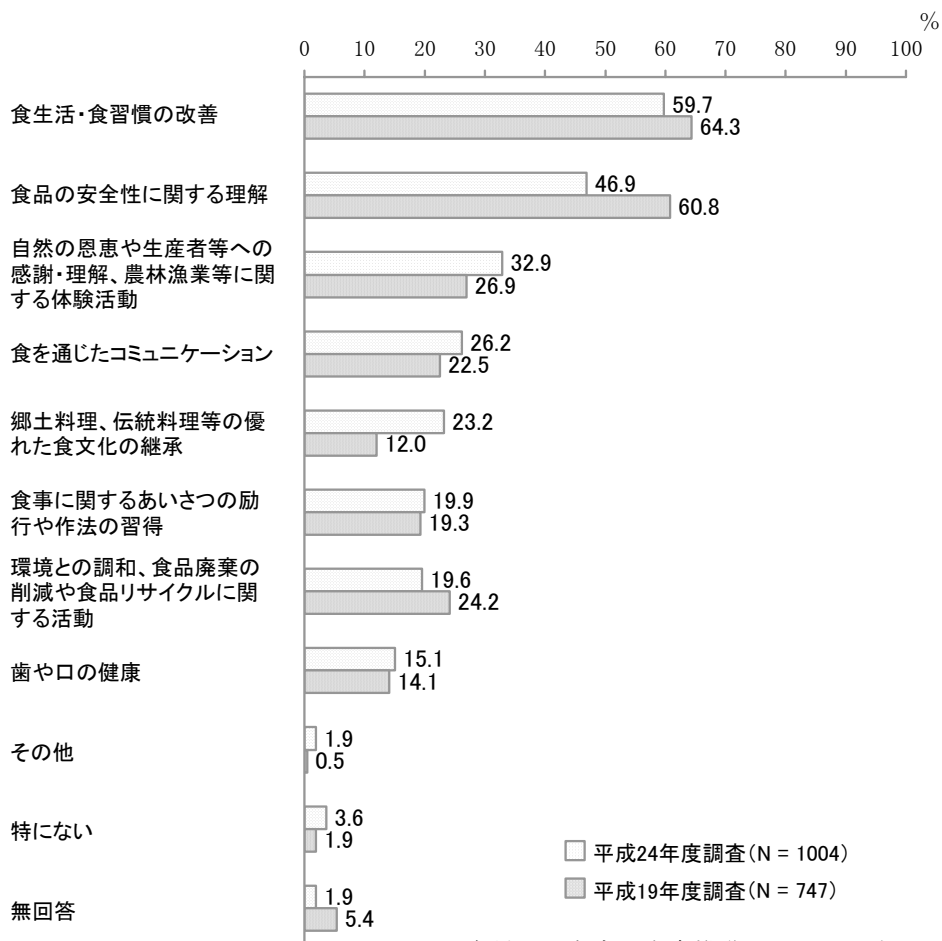


【性・年代別】

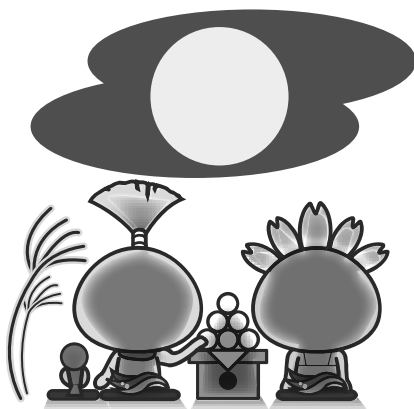


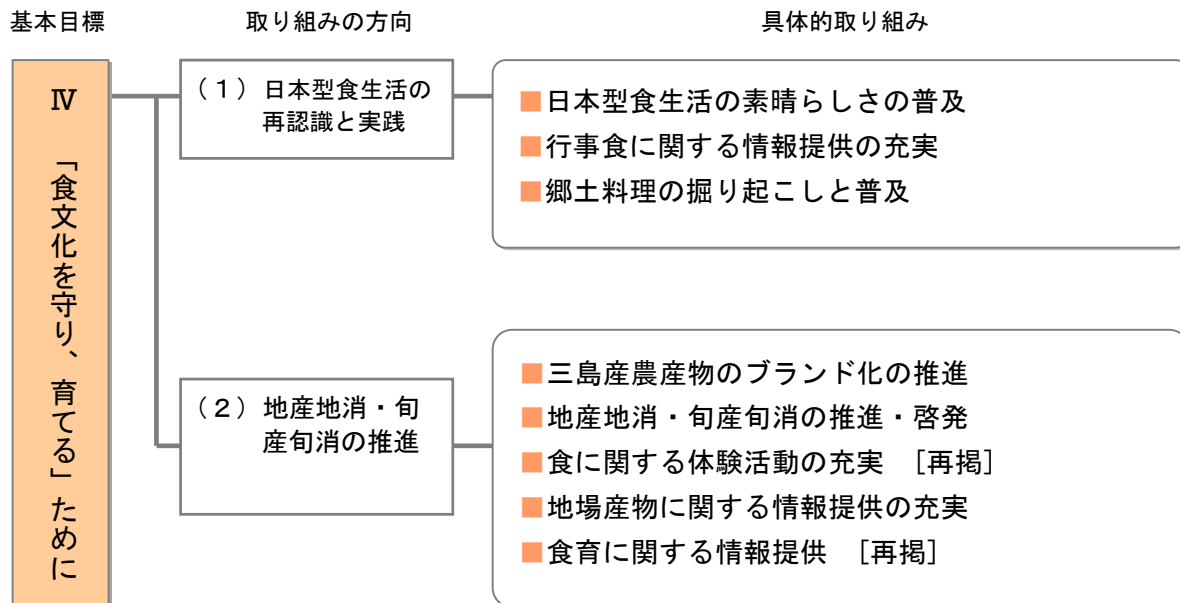
資料：三島市の食育推進に関する調査

重点的に取り組むべき食育の分野



資料：三島市の食育推進に関する調査





【取り組みの方向】

(1) 日本型食生活の再認識と実践

郷土料理や伝統料理、行事食等について掘り起こしを行い、食文化の保存と普及を行うとともに、バランスのとれた食事である「ごはん」を中心とした日本型食生活への実践を促進します。

【具体的取り組み】

市民の役割

- お米を中心にした日本型食生活を実践します。
- 家庭で、四季折々の行事食や郷土料理を味わいます。
- 家庭で、地域の行事食や伝統食を子どもに伝えます。

行政・地域の役割

日本型食生活の素晴らしさの普及

イベントや料理教室等を通じて、「ごはん」を中心とした日本型食生活の素晴らしさの普及を図ります。

● 主な事業

- ・米消費拡大推進
- ・伝統行事・伝統食品の再認識
- ・日本型食生活のメニュー提案
- ・米飯給食の実施
- ・ヘルシーメニュー推進事業（再掲）

行事食に関する情報提供の充実

料理教室等を通じて、日本型食生活とともにある行事食の紹介を行い、家庭における食文化の伝承を促進します。

● 主な事業

- ・親子料理教室・おやつづくり教室（再掲）
- ・食育出前講座（再掲）
- ・食育教室（再掲）

郷土料理の掘り起こしと普及

地域の郷土料理の把握を進め、料理教室等を通じて、伝統食の情報やレシピの提供を行い、四季折々の郷土料理を家庭で楽しめるよう支援します。

● 主な事業

- ・伝統行事・伝統食品の再認識（再掲）
- ・日本型食生活のメニュー提案（再掲）



【取り組みの方向】

(2) 地産地消・旬産旬消の推進

三島産農産物のブランド化を支援し、“地産地消・旬産旬消”の意義を広く市民に周知するとともに、消費者と生産者の交流機会の提供により相互理解を深め、“地産地消・旬産旬消”を促進します。

【具体的取り組み】

市民の役割

- ・市場や食のイベントに出かけ、旬の食材や三島産農産物について学びます。
- ・旬の食材の大切さを知り、周りに伝えます。
- ・買い物の際は、地元産の旬の農産物を選びます。
- ・味付けを薄くし、食材の本来の味を楽しみます。
- ・食農イベントに参加したり、家庭菜園などで農業体験の機会を持ちます。
- ・食に関する地域の行事やイベントに積極的に参加します。

行政・地域の役割

三島産農産物のブランド化の推進

地域営農団体等の育成により三島産農産物の特産化、ブランド化を支援するとともに、“地産地消”を推進する各種イベント等を通じて、三島産農産物のブランドの周知と普及を図ります。

● 主な事業

- ・地域営農団体等への支援
- ・地元農産物イベントへの支援

地産地消・旬産旬消の推進・啓発

地元の食材を地元で消費する“地産地消”や、旬の食材を使う“旬産旬消”を促進するとともに、その意義を啓発します。

●主な事業

- 学校給食への地元農産物使用
- 農産物直売所の開設やJA三島函南が開設する農産物直売所（フレッシュ）への支援
- 毎土あり市の支援
- 三島の農産物を利用した土産品等の開発支援
- 市ホームページ等による旬の食材やしシピの紹介
- 販売店における地場商品・旬商品コーナーの設置・販売（再掲）
- 地元産の安全な農産物の販売促進

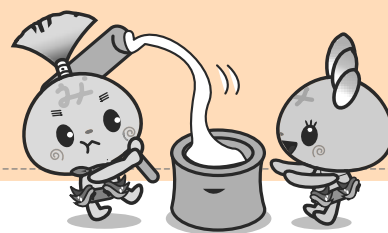
食に関する体験活動の充実 [再掲]

自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動への感謝の念や理解を深めること等を目的として、食の生産に関する一連の体験機会や生産者との交流機会等を提供します。

また、幼稚園・保育園や小中学校において野菜を食材にした食農体験や作物栽培、調理実習など体験活動を充実します。

●主な事業

- 食農体験学習（再掲）
- 子どもたちと学校給食納入農家との交流（再掲）
- 体験活動（作物栽培・調理実習等）（再掲）



地場産物に関する情報提供の充実

地場産物を使用した健康的な献立の情報提供を充実します。

●主な事業

- 家庭における食育の内容や献立の情報提供（再掲）
- ヘルシーメニュー推進事業（再掲）



食育に関する情報提供 [再掲]

食に関して市民が理解を深めるとともに、自ら食を選択する能力を高め、食育を実践できるよう、食育講演会や出前講座等を通じて食育に関する情報提供と啓発に努めます。また、市内事業者にも協力をいただきながら食育啓発を進めます。

●主な事業

- 食育講演会（再掲）
- 給食レシピ・メニューの提供及び料理教室（再掲）
- 食育出前講座（再掲）
- 図書館における食育関連資料の充実（再掲）
- 事業者の協力による食育啓発（再掲）
- ヘルシーメニュー推進事業（再掲）

